

自滅する中国

なぜ世界帝国になれないのか

THE RISE OF CHINA VS. THE LOGIC OF STRATEGY

戦略国際問題研究所(CSIS)上級アドバイザー

エドワード・ルトワック著 奥山真司監訳

四六判ソフトカバー 370頁 定価(本体 2,300円+税) ISBN978-4-8295-0590-8



2012年10月
刊行書の完訳版

中国を知り尽くした戦略家が 戦略の逆説的ロジックを使って 中国の台頭がいかにか自滅的なものを 解説した異色の中国論

——中国が経済的に成功した現在でも、戦略的には失敗している現実は何も変わっていない。

——中国の政府高官たちによく見られるのは、「外国との間の長年にわたる未解決の紛争は、故意に危機を煽ることで解決できる」という考え方だ。そうすることで強制的に交渉を開始させ、紛争を収めようというのだ。

——春秋戦国時代の論者たちの狡猾な策略を「古典から賜った至高の戦略の知恵」という誤った考えでは戦略の論理は理解できない。

——中国が妨害を受けずに世界覇権国になれるのは完全に民主化を果たした時だけなのだが、完全に民主化された中国政府は、いままでとは全く違う目標を追求するようになるのは確実なのだ。

エドワード・ルトワック(Edward N. Luttwak) ワシントンにある大手シンクタンク、戦略国際問題研究所(CSIS)の上級アドバイザー。戦略家であり、歴史家、経済学者、国防アドバイザーとしての顔も持つ。国防省の官僚や軍のアドバイザー、そしてホワイトハウスの国家安全保障会議のメンバーを務めた経歴もあり。米国だけでなく、日本を含む世界各国の政府や高級士官学校でレクチャーやブリーフィングを行う。1942年、ルーマニアのトランシルヴァニア地方のアラド生まれ。イタリアやイギリス(英軍)で教育を受け、ロンドン大学(LSE)で経済学で学位を取った後、アメリカのジョンズ・ホプキンス大学で1975年に博士号を取得。同年国防省長官府に任用される。主著の『戦略：戦争と平和のロジック』(未訳)を始め、著書は約20ヵ国語に翻訳されている。邦訳には『クーデター入門：その攻防の技術』、『ペンタゴン：知られざる巨大機構の実体』、『アメリカンドリーム』の終焉：世界経済戦争の新戦略』、そして『ターボ資本主義：市場経済の光と闇』がある。

日本語版へのまえがき (エドワード・ルトワック)
まえがき

- 第1章 ◆〈反発なき強国化〉がまちがっている理由
- 第2章 ◆時期尚早の自己主張
- 第3章 ◆「巨大国家の自閉症」を定義する
- 第4章 ◆中国の行動における歴史の影響
- 第5章 ◆中国の台頭で生じる地経学的反抗
- 第6章 ◆中国の強国化とそれにたいする世界の反応
- 第7章 ◆無視できない歴史の比較
- 第8章 ◆中国は成功を約束する大戦略を採用できるか?
- 第9章 ◆戦略における古代の愚かな知恵
- 第10章 ◆歴史の記録から見える戦略面での能力
- 第11章 ◆避けられない反発の高まり

- 第12章 ◆なぜ現在の政策は続いてしまうのか
- 第13章 ◆オーストラリア —— 同盟の模索
- 第14章 ◆日本 —— 離脱からの離脱
- 第15章 ◆反抗的なベトナム —— 新たな米国の同盟国?
- 第16章 ◆韓国 —— 天下システムにおける典型的な従属国?
- 第17章 ◆モンゴル —— 反中同盟の最北の前哨基地?
- 第18章 ◆インドネシア —— 排斥主義から同盟へ
- 第19章 ◆フィリピン —— 「敵」に回してしまう中国
- 第20章 ◆ノルウェー —— ノルウェーはありえない!
- 第21章 ◆アメリカの三つの対中政策
- 第22章 ◆結論と予測
- 付録 ◆「平和的な台頭」の興亡
- 解説 (関根大助)
- 訳者あとがき (奥山真司)

7月中旬 新刊搬入予定です

配本部数申込締切は 7月10日(水) です

FAX 03-3813-4615

芙蓉書房出版

〒113-0033
東京都文京区本郷3-3-13
http://www.fuyoshobo.co.jp
TEL. 03-3813-4466
FAX. 03-3813-4615

発行 芙蓉書房出版	注文数	注文者
自滅する中国		
7月新刊 本体 2,300円	部	